Kyoto Institute of Technology

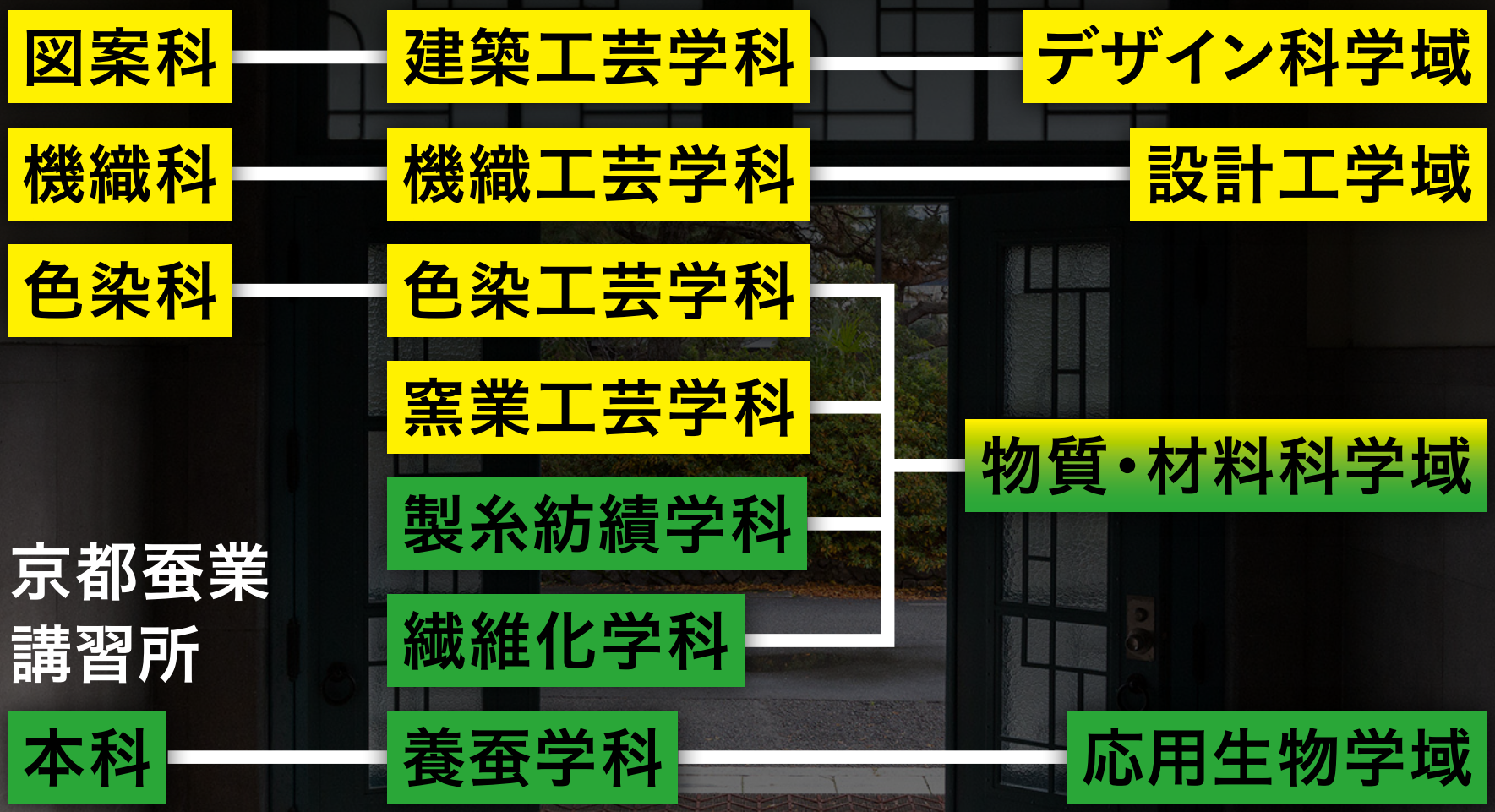
京都工藝繊維大学の
歴史とブランド

藝の遺伝子

岩本　馨（デザイン・建築学系）

2019年
新制京都工藝繊維大学設立70年
京都蚕業講習所設立120年

学科の変遷


京都高等工藝学校
図案科
機織科
色染科
京都蚕業講習所
本科
建築工芸学科
機織工芸学科
色染工芸学科
窯業工芸学科
製糸紡績学科
繊維化学科
養蚕学科
デザイン科学域
設計工学域
物質・材料科学域
応用生物学域
設立時
1949 合併時
2019 現在

繊維学部発祥之地碑（UR花園団地）

1914　京都高等蚕業学校
養蚕・蚕種・製糸・繊維化学・繊維農業・紡織

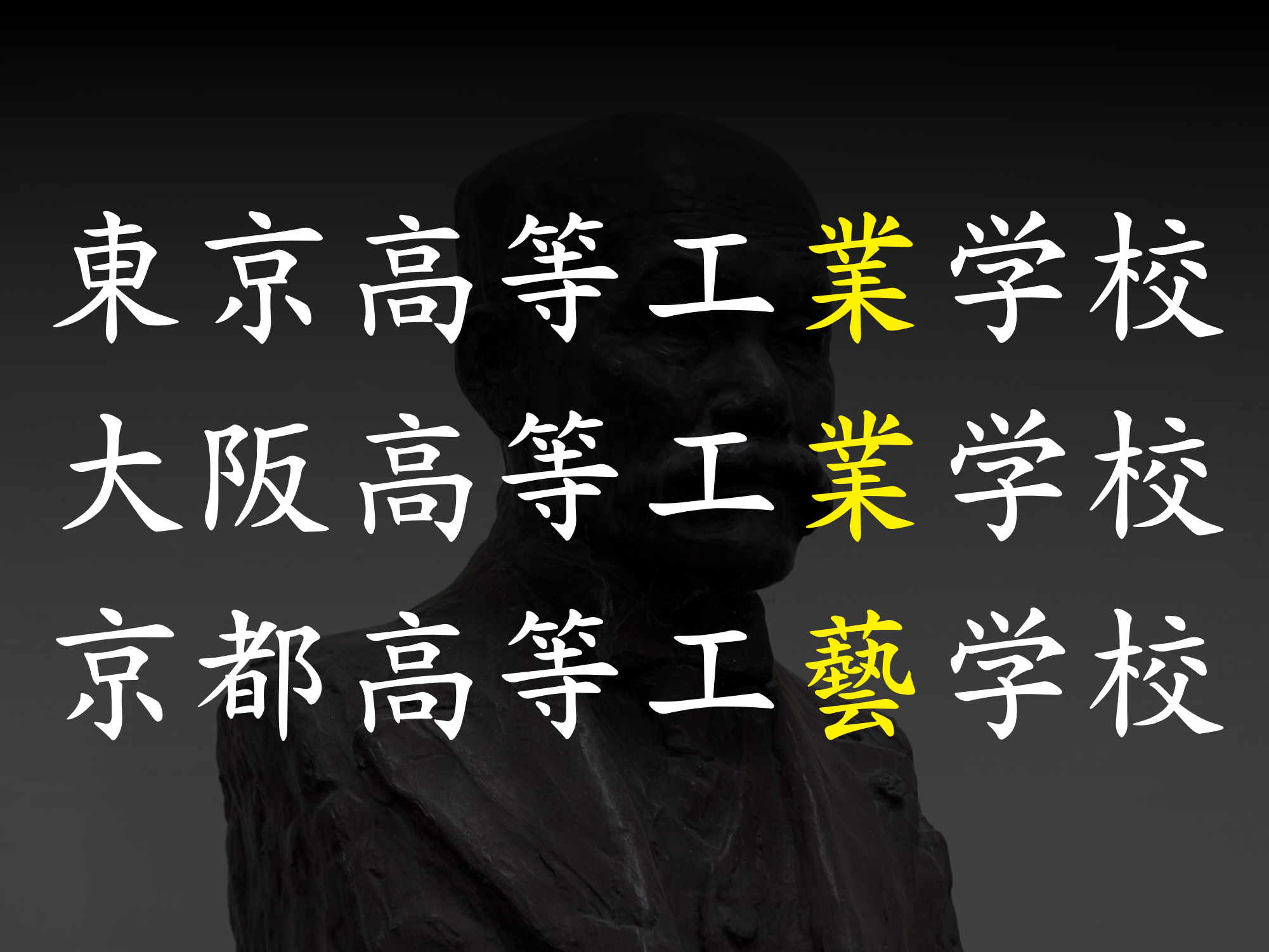
第三高等工業学校構想

「美術及学理を応用すべき工藝、即ち
染織・陶磁器・髹漆等の技術を
練習せしむる学校」

（1899年2月24日貴族院建議案）

→機織科・色染科・図案科設立

初代校長中澤岩太


東京高等工業学校
大阪高等工業学校
京都高等工藝学校

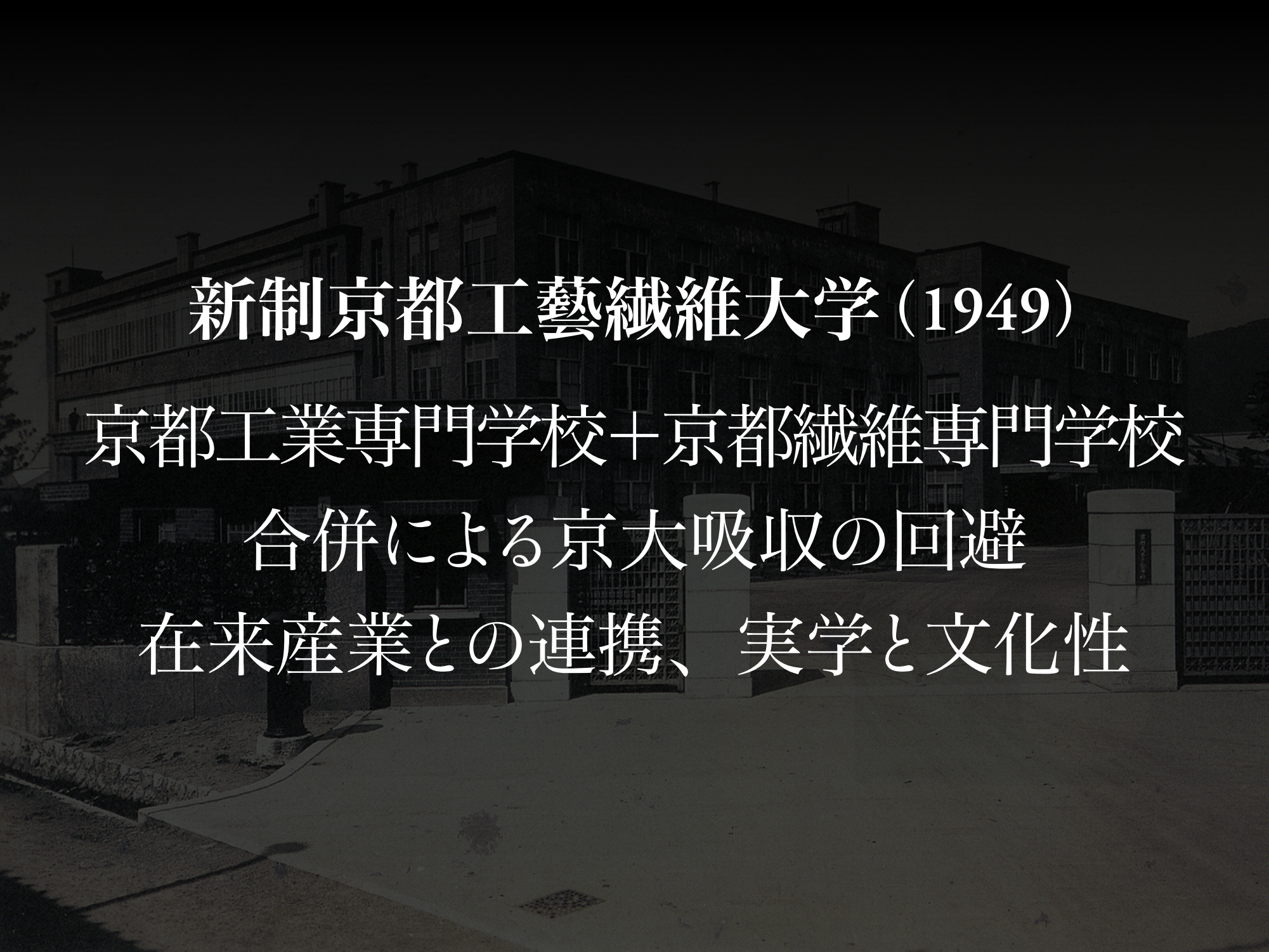
藝　芸

ゲイ／うえる　ウン／くさのこう

くさぎる／きばむ

（『字通』）

六藝（りく）＝礼・楽・射・御・書・数



新制京都工藝繊維大学（1949）

京都工業専門学校＋京都繊維専門学校

合併による京大吸収の回避

在来産業との連携、実学と文化性

「工大化」から「藝」への回帰

高度経済成長期の工大化指向

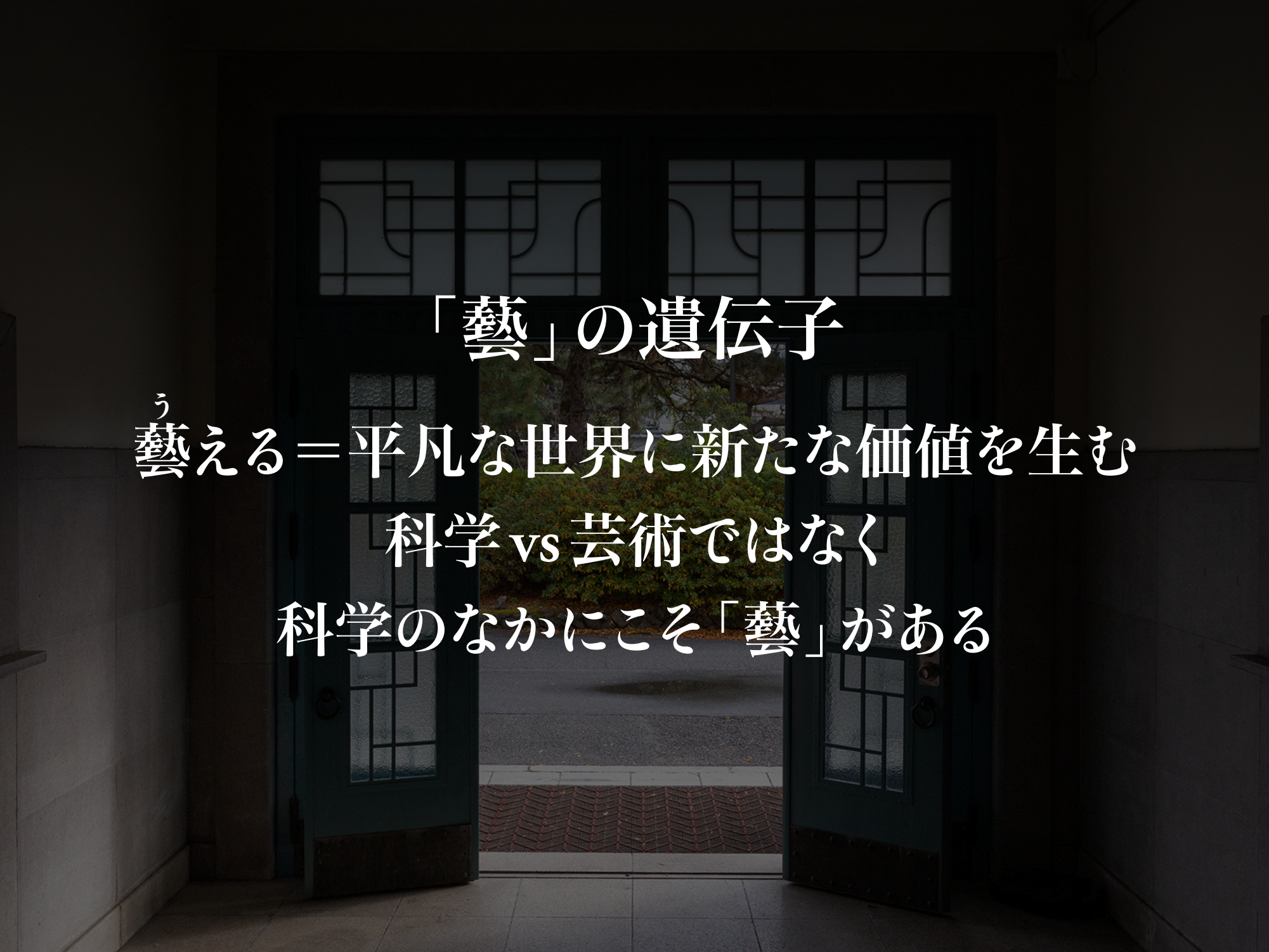
→80年代からの「芸術」の見直し

1980　美術工芸資料館開館

1987　「科学と芸術の接点につながる本学」

（福井謙一学長卒業式式辞）

2000　「科学と芸術――出会いを求めて」



「藝」の遺伝子

藝(う)える＝平凡な世界に新たな価値を生む

科学vs芸術ではなく

科学のなかにこそ「藝」がある